

「認知症患者の行動・心理症状に対する外来・入院治療の現状に関する実態調査」

1. 研究の対象

2018年1月～2020年3月に当科を受診された認知症患者のうち、行動・心理症状（BPSD: behavioral and psychological symptoms of dementia）のために薬物治療又は入院治療が必要と専門医が判断し、実際にどちらかの治療を開始した方を対象とする。

2. 研究目的・方法

目的：認知症患者の長きにわたる療養生活において、BPSDは、患者の生活の質を低下させ、家族介護者の介護負担を増し、早期の施設入所を余儀なくさせる重要な症状である。BPSDに対しては、しばしば薬物療法や入院治療が必要となるが、どのようなBPSDがどのような時に各々の治療が開始されているのかについては明らかにされていないためこれを明らかにする。

方法：下記のカルテ情報を収集して、どのような状況で薬物治療または入院治療が行われたかを明らかにする。

研究期間：実施承認後～2020年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

一般的な認知症診療の過程で得られる治療開始の契機となったBPSDの種類や原因疾患、併存疾患、開始された内服薬、年齢・性別・教育などの背景因子、神経心理学的検査の結果、介護者の状況、本人の利用している介護サービスや介護度などの情報を用いる。これらのデータは氏名など特定の個人を識別することができる記述を削り、匿名化を行う。代わりに新しく符号をつけ、研究対象者と結びつける対応表を当院で作成し、厳重に保管する。

4. 外部への試料・情報の提供

上記の情報を電子的配信を用いて、外部への提供を行う。

5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学 吉山 顕次

東京慈恵会医科大学 精神医学 品川 俊一郎

国立大学法人高知大学 医学部 精神科 上村 直人

国立大学法人熊本大学 大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 橋本 衛

愛媛大学大学院医学系研究科 地域健康システム看護学講座 谷向 知

公益財団法人浅香山病院 精神科 釜江 和恵

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 榎林 哲雄

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2 D3

大阪大学大学院医学系研究科精神医学 吉山顕次（研究責任者）

電話：06-6879-5500